

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年12月2日(2022.12.2)

【公開番号】特開2022-171666(P2022-171666A)

【公開日】令和4年11月11日(2022.11.11)

【年通号数】公開公報(特許)2022-208

【出願番号】特願2022-130220(P2022-130220)

【国際特許分類】

A 61K 31/352(2006.01)
 A 61P 25/14(2006.01)
 A 61P 25/16(2006.01)
 A 61P 9/10(2006.01)
 A 61P 25/00(2006.01)
 A 61P 25/28(2006.01)
 A 61K 31/7105(2006.01)
 A 61K 31/428(2006.01)
 A 61P 21/04(2006.01)
 A 61K 45/00(2006.01)

10

【F I】

A 61K 31/352
 A 61P 25/14
 A 61P 25/16
 A 61P 9/10
 A 61P 25/00
 A 61P 25/28
 A 61K 31/7105
 A 61K 31/428
 A 61P 21/04
 A 61K 45/00

20

30

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月24日(2022.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

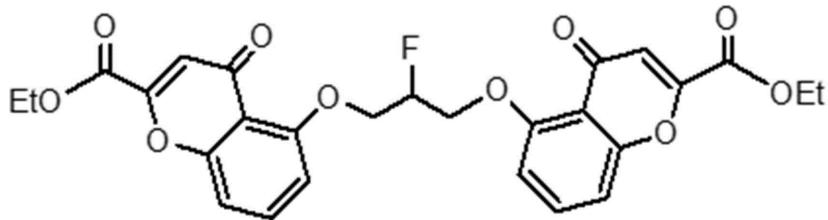
【請求項1】

筋萎縮性側索硬化症(ALS)、ハンチントン病(HD)、パーキンソン病(PD)および虚血性脳卒中から選択されるニューロン炎症状態を治療するための、下記式を有する化合物を含む医薬組成物。

40

50

【化1】



F-ETクロモリン

【請求項1】

10

前記ニューロン炎症状態が筋萎縮性側索硬化症（ALS）である、請求項1に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項2】

前記ニューロン炎症がハンチントン病（HD）である、請求項1に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項3】

前記ニューロン炎症状態がパーキンソン病（PD）である、請求項1に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項4】

前記ニューロン炎症状態が虚血性脳卒中である、請求項1に記載の治療するための医薬組成物。

20

【請求項5】

前記ニューロン炎症状態が虚血性脳卒中である、請求項1に記載の治療するための医薬組成物。

20

【請求項6】

前記組成物が、CD4+；siRNA；ALSを寛解させるmiRNA；グリア形態修飾剤；SOD1制御薬；およびリルゾールから選択される第2の化合物をさらに含む、請求項2に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項7】

前記方法が、ALSを寛解させる抗体標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項2に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項8】

前記方法が、ALSを寛解させる抗炎症標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項2に記載の治療するための医薬組成物。

30

【請求項9】

前記組成物が、アミロイドーシスまたはタウオパチーに関連する神経変性を寛解させる標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項1～8の何れか1項に記載の治療するための医薬組成物。

【請求項10】

前記組成物が、PDを寛解させるシヌクレイン標的薬およびPDを寛解させるパーキンソン病の標的薬から選択される第2の化合物を同時投与することをさらに含む、請求項4に記載の治療するための医薬組成物。

40

50